

平成29年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

行政報告に入る前に、子どもたちの活躍についてご報告いたします。

全国から70万点を超える応募があった第28回読書感想画中央コンクールにおいて、岡山県代表となった美和小学校1年生の作品が、小学校低学年の部において優良賞に決定されました。

また、3月に滋賀県で開催される多賀グリーンカップ争奪第13回学童軟式野球3年生大会に、牛窓シーファイトーズ軟式野球スポーツ少年団が岡山県代表として参加することとなりました。

教育委員会としても子どもたちの活躍を大変うれしく思っており、引き続き支援していきたいと考えています。

次に、本年における学校教育、社会教育それぞれの課題への対応について申し上げます。

学校教育においては、学力向上、生徒指導、特別支援教育及び保幼小接続などへの対応が必要です。特に、学力の向上を図るため学力向上推進事業をはじめとした関連施策を充実するとともに、道徳及び小学校での外国語の教科化やアクティブ・ラーニングの視点での授業改善など、新たな課題に積極的に対応していきます。

また、教育の機会確保のために実施している奨学金制度については、定住促進等としての施策にもつながるよう、返還金の一部を免除とする新たな制度を導入したいと考えています。

社会教育においては、昨年開館した市民図書館をはじめとした社会教育施設を中心として、生涯学習の機会のさらなる充実を図る必要があります。このため、地域資源を活用した事業や体験型学習の機会の充実、社会教育施設や関連機関との連携事業、また市民の皆さまとの協働事業などを推進していきます。

なお、これらの施策の実施に当たっては所要の措置を講じる必要があるため、今議会に議案を提出しています。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 日本遺産認定申請について

このたび古代から続く伝統的な日本刀の作刀技術を継承している本市と岐阜県関市との共同で、「日本刀が息づく街 関・瀬戸内」として日本遺産認定申請を行いました。

日本遺産は、地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産として文化庁が認定するものです。

「備前長船」と「関の孫六」は世界に聞こえた刀のブランドであり、本市と関市は日本刀の大生産地です。日本刀の生産や流通を中心に栄えた町場や文化とともに、古式鍛錬をはじめ、「日本刀」を構成する伝統的諸技術を体感できる街として、今後ともその魅力の発信に努めます。

○ 邑久中学校大規模改造工事の進捗状況及び学校施設長寿命化計画について

邑久中学校南棟大規模改造工事は、騒音による授業への影響に配慮し施工しているため、やや遅れ気味ですが、年度末の工期内に完了する予

定です。また、邑久中学校北棟大規模改造工事は、設計が終了し、年度内に監理業務、仮設校舎のリース及び工事本体の入札を行い、平成30年度の完成を目指します。

主な工事内容としては、屋上防水改修、外壁改修、各室内装改修、エアコン・LED照明等の電気設備改修、給排水・換気設備・消防設備等の設備改修、トイレの洋式化改修などです。整備に当たっては、夏季休業期間を有効に活用するなど、学校活動への影響に配慮しながら計画的に実施するとともに、事故やけがの無いよう安全管理を徹底します。

学校施設長寿命化計画については、各学校の施設の現状や劣化状況を把握するため現地調査を実施し、分析に基づき、多角的な視点から検討するため、関係部局の行政職・技術職、教育委員、校長等で構成する検討委員会を設置し、今後の学校施設整備の方向性を検討しました。

計画の素案を取りまとめ、パブリックコメントや教育委員会議に諮り、計画を完成させたいと考えています。

学校施設は、子どもたちが学習・生活する場であるとともに、災害時の避難所としての役割を持ち、また、地域の拠点となる重要な施設です。

この計画に基づき、学校施設を長寿命化することにより、コストの削減や財政負担の平準化、学校施設の機能及び性能の確保を図っていきます。

○ スポーツ推進計画について

瀬戸内市スポーツ振興計画は平成19年度から平成28年度までの計画であることから、平成29年度から平成38年度までの10年間の計画として新たに瀬戸内市スポーツ推進計画を策定します。この計画は、スポーツ基本法に規定する「地方スポーツ推進計画」であるとともに、本市

のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。

また、第2次瀬戸内市総合計画に掲げる「未来に輝く人づくりと文化の創造」を推進するための計画の一つです。このため、瀬戸内市総合計画、瀬戸内市教育大綱との整合性を図り、岡山県スポーツ推進計画を踏まえた上で策定するものです。

○ 夢二コンクールについて

中央公民館では、本市出身で大正ロマンを代表する画家であり詩人・デザイナーでもある「竹久夢二」の偉業をたたえ、平成30年1月に「夢二コンクール」の開催を計画しています。このコンクールは、竹久夢二の作詞した曲を課題曲として、声楽部門と楽器部門の音楽コンクールとして実施するものです。

また、コンクールの創設の周知及び地域文化の向上を図るため、市内各地で竹久夢二ゆかりの音楽を題材としたコンサートや施設への訪問コンサートを実施します。

併せて、牛窓地域や長船地域の文化芸術など、地域資源を活かした市内の他の観光施設と、竹久夢二ゆかりのエリアとの回遊性向上につながる検討を行うことを予定しています。

これらの全体計画については、「夢二のふるさと芸術交流プロジェクト」とした地域再生計画を国に申請しており、実施に当たっては地方創生応援税制いわゆる企業版ふるさと納税を活用することとしています。

○ 図書館友の会について

図書館では、去る1月28日に「瀬戸内市立図書館 友の会設立総会」を

開催し、趣旨説明、会則案の提案、参加者による意見交換等を行いました。

参加者は35人で、趣旨や活動内容等へのご質問をいただいた後、会則案の了承をいただき、名称を「瀬戸内市立図書館友の会 もみわフレンズ」として、活動を始めていただくこととなりました。

今後、図書館運営のさまざまな局面で、市民の皆さまと意見交換をし、協働で事業を実施するなど、基本理念である「もちより・みつけ・わけあう広場」としての図書館づくりを進めていきます。

○ 備前長船刀剣博物館について

博物館では、本年1月27日から3月26日まで、相撲博物館の協力のもと、特別展「大相撲と日本刀」を開催しています。

横綱が土俵入りするときには「露払い」と「太刀持ち」を従えて入場します。「太刀持ち」が持つ太刀の多くは現代刀匠が製作したものです。

また、前人未到の69連勝を誇る双葉山は室町時代の備前長船の刀匠・^{かつみつ}勝光で、大鵬は備前長船の師^{もろみつ}光や福岡一文字派の^{むねよし}宗吉で入場していました。こうした土俵入り太刀を展覧しつつ、他には岡山出身の横綱・常ノ花、北の湖や千代の富士、武蔵丸や白鵬などの太刀や化粧まわし、日馬富士や鶴竜の横綱の綱、立行司・木村庄之助の衣装と軍配や^{たんとうこしらえ}短刀拵、弓取りの弓、江戸時代の力士の錦絵、^{らいでんためえもん}雷電為右衛門や^{いなづまらい}稲妻雷五郎の刀剣など105点を前期・後期に分けて展覧しています。相撲文化とともに残る貴重な日本刀文化を伝えていきます。

○ 瀬戸内市立美術館について

美術館では、2月19日から4月2日にかけて、「生誕120年 佐竹

徳展一坂手得二・服部恒雄とともに一」を開催します。今年は佐竹画伯の生誕120年という記念の年であり、本展は画伯顕彰のための展覧会となります。内容としては、常設の佐竹徳記念室では飾りきれないサイズの大作を中心として、画伯が晩年期に取り組もうとしていた作風に至る流れを紹介します。また、画伯に私淑し、オリーブ園の大作を中心に描く坂手得二氏、画伯の牛窓生活を支援し、自身も画家として評価を受けた故服部恒雄氏、佐竹画伯と共に牛窓を描いた二人の作品をあわせて展示します。

毎週日曜日に行っているギャラリートークは、それを楽しみに来館されるお客様も増えており、定番化してきました。また、専門家を招いて親子を対象にした対話型の作品鑑賞会を開催するなどの試みも始めており、引き続き瀬戸内市の文化向上に努めます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成29年2月22日

瀬戸内市教育委員会

教育長 柴崎 伸次